



板垣 良輔 議員  
(日本共産党  
幕別町議員団)

問 町民の願いに寄り添ったプール設置を

答 児童の利用を最優先に検討していく

**問** 今年3月、予算審査特別委員会において、札内東、札内南、札内北の3カ所のプールを廃止し、新たに通年利用可能な温水プールの設置を検討しているとの答弁があった。プールは体力増進や公衆衛生に資すること、また住民の憩いの場の提供ということから、住民サービス向上に大変有用であり、通年利用の温水プール設置を求める声があがっていた。小学校近隣に設置されている札内の3カ所のプールは、老朽化が進んでおり、対策を講じる必要に迫られている。一方、廃止を伴うプールの集約化は、一番の受益者である児童の生活圏に対応できない。プールが学校の近くにあり、児童が授業や放課後に容易に利用することができる体制を維持するべきである。町民の強い要望である温水プールの設置を進めていくべきだと考える。一方、利用可能なプールも廃止し、集約化することとは十分に検討するべきだと考える。この点についての考えを伺う。

**教育長** 札内地区のプール整備計画は、札内東町民プールを単独で建て替える計画であったが、他の2カ所のプールも建設後30年近く経過し、改修や建て替えを検討しなければならぬ時期となることから、建設費や維持管理費を考慮し、3カ所の町民プールを統合し、新たに通年で開設できる温水プールを整備することについても検討している。今年1月に開催された幕別町総合教育会議では、札内地区のプールのあり方について、教育委員会の考え方を原案として示し、3月の町議会定例会の予算審査特別委員会においても、当該原案に沿って説明した。

札内地区の3カ所のプールを統合した場合には、複数の小学校が1カ所のプールで授業を行うことになり、授業時数の確保と割り振りに支障がないか、また、遠方の学校が授業で利用する際や、長期休業期間における児童の移動手段の確保など、整理しなければならぬ課題があると考えている。



老朽化が著しい札内東町民プール

授業時数の確保は、通年開設のプールを設置した場合、開設期間が拡大されるため支障がないものと認識している。また、遠方の学校の移動手段についても、授業の際は、スクールバスでの送迎により授業に影響が出ないようにしなければならぬと考えている。長期休業期間中におけるプールの利用やスクールバスの運行などについても検討しなければならぬと考えている。

仮に、統合による新たなプールが完成した場合の既存施設の廃止

時期は、利用者の利便性や維持管理費などを考慮した上で検討するが、児童の利用など教育的な面を最優先に配慮しなければならぬと考えている。

学校や保護者、水泳関係者などの意見を伺いながら、札内地区のプールのあり方について、さらに検討を進めるとともに、町長部局とも十分な協議を行い、事業計画を幕別町総合計画3カ年実施計画に位置づけ、事業の実施に向けて取り組んでいきたい。

**再質問** 仮に、3カ所の小学校近隣プールを廃止するといった大きな公共施設の変更を行う場合、十分ゆとりをもったスケジューリングで、住民に説明する、住民の意見を聞く、吸い上げる、そういう機会を持つべきと考えるが、話し合いの場を設けているのか。

**答** 子供たちがどれだけ利用できるかということも、優先的に考えなければならぬ。併せて住民の利用もできるようにと考えている。

まずは学校、保護者の方々と今後、仮に統合するとなれば、廃止するプールの校下の保護者も含めて、意見交換しながら方向性を探っていきたいと考えている。